

「杉並区における今後の協働の取組方針」に基づく 平成 25 年度の主な取組について

1 「協働提案制度^注」の試行実施・検証

地域活動団体と区との事前相談・事前協議のプロセスを重視した制度とし、今年度は試行実施とする。

杉並区 N P O 等活動推進協議会委員を中心に構成する「(仮称)協働提案評価委員会」による外部評価を受け、制度を評価・検証する。

注) 区が地域の課題をテーマとして設定し、地域活動団体から解決に向けた提案を受け、区との協働により課題解決に取り組む制度。

<今年度に募集する協働テーマ(課題)>

1	区内農産物に係るまちなか地産地消事業の構築
2	区民向けの多様な交通安全教育の企画・運営・実施
3	家庭から出る生ごみを減量する施策の普及・拡大

2 N P O 支援基金の役割・仕組みの見直し

N P O 支援基金への理解促進を図るため、基金助成事業の公開プレゼンテーションや活動視察、公開報告会を実施し、事業の透明性向上と活動内容の情報発信等に取り組み、寄附増につなげる。

基金助成の対象範囲の拡大を図るため、これまでの助成対象(杉並区に登録している N P O)に加え、すぎなみ地域大学修了生による団体の活動等を新たに助成対象とする。

3 地域人材の育成機能の充実

すぎなみ地域大学による講座の運営にあたっては、特に若い世代を意識し、地域活動や社会参加に向けた導入プログラムなどの企画講座を実施する。

4 中間支援機能の充実・強化

すぎなみNPO支援センターの機能充実・強化を目的とした組織体制の再構築に向け、検討を進める。

5月から開始した「中間支援組織ネットワーク会議」において、地域活動団体に関する情報の収集を図るとともに、団体間のネットワーク化を推進し、地域の特性にあわせた協働の取組を進める。

5 庁内推進体制の確立

全庁的な協働推進体制として、本年3月に「杉並区協働推進本部」を設置した。

「すぎなみ協働推進ガイドライン」(2013年度版)を作成し全庁に配布するとともに、全職場を対象にした協働に関する説明会や職員研修等を実施した。